



山口大学

2型リアノジン受容体からの Ca²⁺漏出がもたらす 細胞内恒常性維持機構の破綻と 心血管・腎・免疫疾患

リアノジン受容体を標的としたオーダーメイド医療
希少遺伝性疾患のゲノム医療から健康長寿延伸を実現する創薬開発まで

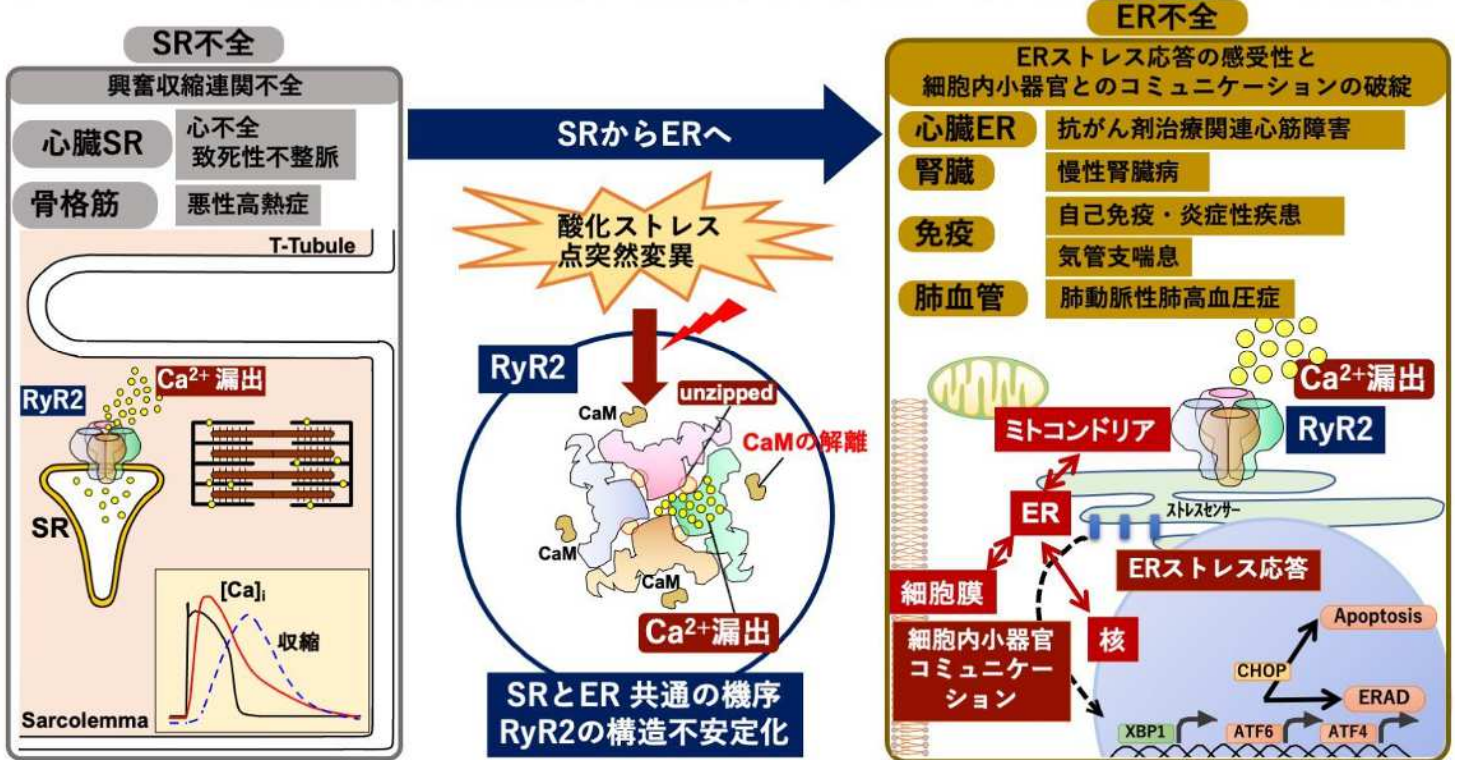
佐野 元昭

内海 仁志・末富 建・中村 吉秀・名和田 隆司

RyR2研究 25年の軌跡



リアノジン受容体安定化剤は加齢関連疾患の万能薬となる可能性



挑戦

アカデミア発創薬をめざす：新規RyR2選択的安定化薬の開発

創薬標的の解析

RyR1, RyR2, ダントロレン

シード創出

→シード化合物へ

構造最適化

→リード化合物へ

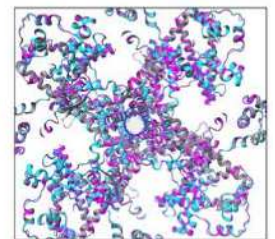
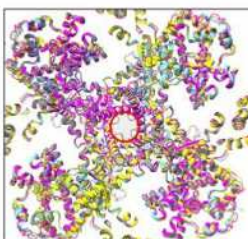
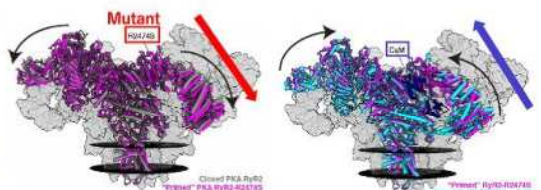
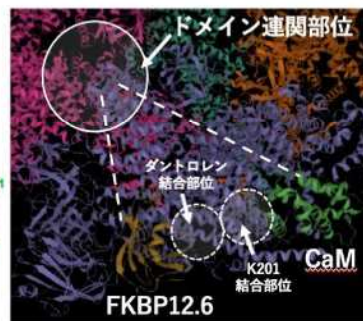
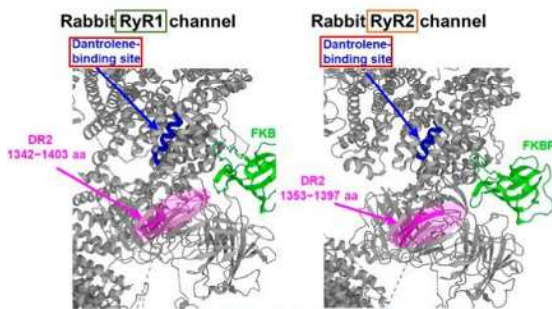
前臨床

アカデミア

企業導出

ダントロレン結合配列はRyR1とRyR2で同一だが、3次的に少し異なる可能性あり

シミュレーションを用いた新規RyR2選択的安定化薬の開発



コンピュータシミュレーション

山口大学工学部

隅本 倫徳先生

Brigham and Women's Hospital

後藤 信一先生

